



2011年1月1日

セカンドハンド通信 NO.63

セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
 E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/>



スヴァイアン・ヘルスセンターが完成しました！



アンタソー集合村に建設支援していたお産病棟が完成し、11月23日に施設の利用が始まりました。12月4日に訪問した時点で、6人の赤ちゃんが新しい施設で産まれたと報告を受けました。現在200名以上の妊婦さんが健診に訪れており、難しいと判断され大きな病院で出産するケースを除いたほとんどの人がここで出産することになり、健診に訪れる妊婦さんは新しい施設をととても喜んでいるそうです。

これまで休む場所がなかったため、産後すぐの帰宅を余儀なくされていましたが、現在は6台のベッドがあるため、産後6時間程度の経過観察や、経過がよくない場合の入院が可能になりました。ヘルスセンターで経過観察することで、異常な場合には素早く対応ができるようになり、リスクが大幅に減少しました。

2名の助産師さんも「十分な広さがあり、環境がとてもいいから働きやすい」「他の患者さんと別棟なので、妊婦健診もゆっくりでき、悩みを聞くなど相談にものってあげられるようになった」と喜んでいきます。

このヘルスセンターが保健政策的に対象としているのは2つのコミュニン(集合村)。人口は12,618人ですが、実際にはそれ以上の人がこの施設を利用することになるでしょう。

今回、この事業を調整したスヴァイリエン職業訓練センターのヴァニーさんは、完成後に施設を訪ねたとき、患者さんたちから「ありがとう、ありがとう」と感謝され、驚いたそうです。どれだけ感謝されているのかを実感したと同時に、支えてくださっている日本の皆さんの姿を思い出し、感謝の気持ちを新たにしたいそうです。また、「交通費をかけて大きな病院に行けない人たちが多いため、この地域の、特に貧しい人たちを支えることにもつながります。こうやって自分が貧しい人たちのために役立つことができ、本当に嬉しい」とも語ってくれました。

【2ページに続く】



ヴァニーさん



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集まれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

ヘルスセンターの責任者から いつか日本の様に・・・

「地域の人はもちろん、スタッフ一同、セカンドハンドの支援に大変感謝しています。皆さんが時間や労力を使って作った資金だということを、きちんと伝えて大切に使っていきます」

そんな御礼の言葉に続いて、「日本に研修に行った医療関係者から日本の救急車にはこのセン



前号ニュースレターを興味深く見る責任者(左)

ターの資機材よりも多くのものが搭載されていて立派だと聞きました。このセンターはいつになったらそんな風になるんでしょう」

と、問いかけてきました。

日本も戦後、何もなかったところからスタートしたということ、救急車は特別な装備だという話を伝えたものの、本当に医療機材といえるものがほとんどない医療施設で働くスタッフの皆さんに、それ以上かける言葉が見つかりませんでした。

私たちにできることは限られていますが、今後もニーズに耳を傾け続け、私たちにできる範囲で本当に必要だと感じたことがあれば、問題解決のために地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

人々の命を救う日本の技術

～香川県立中央病院の院長ら カンボジアで技術指導～

香川県の国際協力事業としてJICA(日本国際協力機構)の資金で実施している、カンボジアの救急医療に関わる人材の育成事業が今年で3年目の最終年を迎えました。セカンドハンドがTICOと共に実施している救急医療支援に連携した事業で、これまでに、カンボジアから計6名の医師を日本に招いたほか、香川県(中央病院)の医師を派遣して現地でワークショップ(研修)を実施しています。

先日、12/1～2の2日間、プノンペン市民病院で香川県立中央病院から派遣された医師、看護師によるワークショップが開催され、2日間で延べ60名余名が参加しました。

11月の水祭りの際に起きた災害(将棋倒しで352名死亡)の事故以来、救急に対する関心が一層高まる中でのワークショップでした。

中央病院の先生方の具体的かつわかりやすい説明と実技に、参加者たちは「わかりやすく、多くを学べた」と充実した表情で語ってくれました。



Emergency Medical Care(救急医療処置)に関するワークショップ

松本病院長

今回カンボジアに来て、自分が如何に知らなかったか、そして、途上国に目を向けていなかったかが分かった。逆に、今の日本には不満が溢れているが、如何に私たちが恵まれているのかということを実感した。

医療に関しては事前に聞いていたものの、大変な状況だということを改めて実感させられた。過去、日本もそうだったが、国が整備されていく中で、社会福祉や医療という分野は後回し。まず、政治や経済など基礎ができ、農業等が発展し、最後に医療分野が整備されるようになるのかなと思う。特に医療従事者の労働環境が悪く、副業せねばならない状況は厳しいと感じた。

この国の医療従事者の一人一人の能力は高いと思うが、そういった優秀な人たちが国や公、民のために働けるようにしてあげられる、そういった環境の整備が課題だと思う。

中央病院で研修を受けた医師たちに再会でき、日本での研修の成果、帰国後の活動について詳しく聞くことができたことは嬉しかった。日本で私たちが伝えたことをきちんと覚え、帰国後に委員会などを設置し、広く伝える活動が続いていると聞いた。また、セカンドハンドやTICOのスタッフの方々が真剣にカンボジアの救急医療の支援に取り組んでおられ、現地の医療関係者との間に信頼関係ができているのを感じることができた。

香川県、中央病院として、今後どのように関わっていけるか、帰国後に検討したいと思っているが、何らかの形で関われたらいいと思っている。

岡医長(外科)

今回、スラムも見学し、この国の貧富の差を実感した。研修は長時間であったにも関わらず、居眠りなどする人もなく、皆さん真剣に聞いてくれ、たくさんの資料を時間をかけて作った甲斐があった。今後も、おごらず、教わったことを発信していってくだらいいと思う。

秋山看護師長

カンボジアに入って、バイクの多さ、交通事情に唖然とした。

医療施設の写真は以前カンボジアに来た方から見せてもらったものの、なかなか写真からは現状を想像できなかった。実際に患者さんがマットもシーツもないベッドに私服で横たわり、点滴くらいしか周辺に置かれていない、何も無い状況を見学し、機器が充実している日本とはずいぶん違うんだということを実感した。

カンボジアでは入院したら家族が付き添い、すべての世話をする。日本の看護のあり方を知ってもらい、こちらの看護師さんたちにも工夫してやってもらえたらと思う。まず、知ることが大

切だが、ないものを伝えるのはなかなか難しいと思う。



左から秋山看護師長、
外科医長の岡医師、
香川中央病院の松本病院長

カンボジアで国際会議が実施された折、私たちが支援しているポチェントン病院の救急隊が万が一に備えてスタンバイするように政府から要請があったそうで、救急隊の皆さんが誇らしげに話してくれました。

水祭りの事故の際にも、一番最初に現場に駆けつけたのが、ポチェントン病院の救急隊だったそうです。午前3時まで繰り返し搬送した人のうち8名が死亡。全員の命を救えなかったのは残念だが、教わった技術と、搭載していた酸素のおかげで38名の命を救えたと言ってくれました。(現状、多くが酸素すら搭載されていない。)

まずは、こういった災害が起こらないような予防をすることが大切ですが、有事の際に対応できる技術、機器が充実されることが急がれます。

今後もTICOと連携し、医師や救急隊を日本に招き、学んでいただく機会を提供したいと考えています。現地で活用できる資機材、技術協力(救急業務の経験者)などあれば、ご協力をお願いいたします。



大人になれない子どもたち

日本の新生児死亡率は、世界で178位（良いほうから3位）。5歳未満児死亡率も下記の表にあるように、日本は、世界有数の生存率を誇っています。発展途上国では、栄養や衛生の問題、感染症、医療を受けられない環境（経済的、物理的）などが原因で、多くの子ども達が命を落としています。

●5歳未満児死亡率（2010年 UNICEF統計）※1000人あたり
 1位 アフガニスタン 257人
 4位 ザンビア 148人
 41位 カンボジア 90人
 172位 日本、ノルウェー、スペイン、フランス…16国 4人
 188位 スウェーデン、スロベニア、シンガポール…5国 3人
 193位 サンマリノ、バチカン 2人

セカンドハンドが医療支援に関わる前（2000年頃）の
 カンボジアは140人。多くの団体、カンボジア医療関係者の
 働き成果が出ているんだね。
 セカンドハンドもその一端を担っていると思うと嬉しいな。

SECOND
HAND

世界に2億4600万人（子どもの6人に1人）

これは、児童労働をしている5～17歳の子どもたちの人数です（ILO統計）。このうち1億人以上は教育を受けていません。経済的に貧しい国々では、子ども達が縫製工場などの生産現場で働き手となっています。農場での農薬散布や鉱山・採石場などでの危険な労働、路上での物売り、物乞い、家事使用人をはじめ、最悪の事態では性産業での労働や、兵士として戦場の最前線に送られるなど命の危険にさらされているケースも少なくありません。

物乞い

ゴミを拾って売る少女

孤児院で入所したばかりの11歳の女の子に
 合ったんだ。人身売買の末、性産業で働かされ、女性器が破裂して
 手術を受けたという話を聞かされ、目の前にいる子がまさか…と
 信じられなかった。それから数年、孤児院で再会したけど、
 彼女は過去の事実をどう受け止めているだろう。

物売り

SECOND
HAND

セカンドハンドも、子ども達のために頑張っています！

今まで、学校建設、奨学金支援、妊産婦の支援につながる医療支援、孤児院支援と様々な角度から子ども達のサポート事業を実施してきました。現在は、以前より支援しているホームランド孤児院が食料も十分に買えないほどの財政難であるため、孤児院支援のキャンペーンを実施中です。路上などで保護された子ども達が、新たな未来を築けるよう、スタッフも懸命に頑張っています。募金や募金箱の設置、フリーマーケットを開催し収益金を寄付するなどのサポート、大歓迎です！貧困の悪循環を断ち切る手助けを子ども達が必要としています。少しでも構いません。あなたの力を貸してください！

＜ホームランド孤児院＞

カンボジア・バタンバン州に拠点を置く現地NGO。ストリートチルドレン、エイズ孤児、人身売買の被害に遭った子どもなどを保護し、親元に戻れるように、または自立していける様に支援している。現在80人の子どもがホームランドで生活している。



どんな環境でだって遊びになると
 パワー全快

皆のお母さん代わりの
 代表マオランさん



1日1ドル分のお肉を買って
 80人で分けるという食事
 この日の朝食は乾麺だけ

●卒業生のブッティー（22歳）

タイ国境近くの難民キャンプで生まれた。父親は戦死。物乞いしながら母親と路上暮らしをしていた9歳の時、孤児院に保護された。「母が少しでも楽になって幸せになってくれたら」と思ったそう。彼には3人の兄弟がいたが、1人は病死、2人は他国に出稼ぎに行き行方不明になっていることを保護された頃に知った。現在、孤児院を卒業し、セカンドハンドのフォスターペアレント制度の支援で大学に通っている。物乞いをしていた彼に差し伸べる手がなければ、今頃、どんな生活を送っていただろうか。全うな人生を歩むこと、大学に通うこと、支えにより未来を築くチャンスは彼は得ることができた。インタビュー中、何度も口にしたのは「本当に感謝している。勉強に励み、将来自立した人間になることが、フォスターペアレントへの恩返しだと思っている」という感謝の言葉だった。たった一人かもしれない。でも、一人の人生を変えたこの支えの大きさは計り知れない。



●チェンダ
 父親は死亡。母親は健康状態がかなり悪く、収入がほとんどない。親戚も経済的に苦しく預けられず、育てることができなくなり孤児院に預けられた。



●メイ
 母親とタイ国境付近に暮らしていた。家庭が貧しく満足のいく食事ができないのと、親からの虐待から逃れるために孤児院に入所した。

世界の子どもたちの今 ～ 私たちにできることは？ ～

支援先を訪問し、出会う子ども達の「学びたい」「学校に行きたい」という意欲の高さに、学べるのが当たり前で日本で育った私たちは驚かされます。確かに、女子の就学率が高まると乳幼児死亡率が低下したというデータもある程、教育は生きるために重要です。でも学ぶ以前に子ども達の前に様々な障害が立ちちはだかっています。世界の子ども達はどのような状況に置かれているのでしょうか。

未来を奪うHIV/エイズ

SECOND
HAND

感染が最も多い母子感染は
 98%予防できる

出産前後の適切な処置で母子感染は防げるのに、感染の多い発展途上国の妊婦の90%以上がその処置を受けない。感染した子どものうち、発症抑制の薬を手に入られるのはわずか1%…。

1981年に確認されて以来、急激に増え続けるHIV感染者。現在、15歳未満の子どもが、HIV関連の病気で毎分一人死亡。毎年64万人が感染しているそうです。サハラ以南のアフリカやカリブ海、アジアなど貧困の国々に集中し、出産時の母子感染、性的暴力や人身売買などで多くが感染しています。エイズに関連する病気で両親を失うエイズ孤児も増加の一方。子ども達は、病気だけでなく、差別や偏見にも苦しんでいます。

学びたい！学校に行きたい！ 子どもたちの就学率

国際機関、政府、NGO様々な機関の努力により、世界の初等教育の純就学率は2006年に90%を超えました。しかし、未だ7,300万人の子どもが小学校に通っていません。就学率を上げるためには、貧困削減が鍵。今日、明日のご飯が食べられるかどうかという家庭の子ども達は、学校に通う余裕がないのです。

※純就学率：一定の教育レベルにおいて、教育を受けるべき年齢の人口総数に対し、実際に教育を受けている（その年齢グループに属する）人の割合。

SECOND
HAND

カンボジアの純就学率は年々向上し
 2009～2010年は95.5%。（セカンドハンドも学校建設で貢献しているね！）

中でも注目すべきは、女子の純就学率が95.5%になったこと。
 世界的にも女子の就学率向上には力を入れているんだ。
 でも、6年生への進級率は61.6%。中学への進級率は37.1%。
 授業も半日だけだし…。

大人の紛争の犠牲になる 子どもたち

不発弾や地雷の被害に遭う子ども、子どもも兵士として武器を持たされ人を殺したり、武器や弾薬を運ぶ危険な仕事や、性的な目的で少女が連れ去られたりしています。過酷な訓練で怪我をしたり、殺されたり、失敗をした時には厳しい罰を与えられるなど、大人の奴隷として働いています。

子どもたちへのお年玉寄付キャンペーン 2月15日まで受付中！

ご寄付は、ホームランド孤児院の子ども達の食費をはじめとする運営費に充てさせていただきます。
 入金時には必ず「ホームランド」とご記入下さい。
 ◆郵便振替口座 01620-6-60029 セカンドハンド

運搬車 ボンゴブローニが やってきました!

もう壊れるかも、もう壊れるかもと、ハラハラしながら待ち続けて2年。11月19日に待ちに待った車(中古)が納品されました。格安で入手する



納品されたボンゴブローニ

ために、神奈川の中古車会社や地元の個人など、各地で皆さんが探してくれていましたが、最終的に香川マツダさんが仲介し、持ち主より破格値で譲っていただけることになりました。皆の思いが通じたのでしょうか。

新しい車と引き換えに破棄した車は、12年前、香川マツダ販売さんから無償でお譲りいただき、それ以降、店舗と倉庫間の運搬、バザーの搬入などで活躍しました。運搬車は陰でセカンドハンドの活動を支えてくれる、なくてはならない存在です。ご協力くださった皆さん、本当にありがとうございます!安心して運搬できます。

様々な学校の生徒達が思いを行動に...

関心を持ち、何かしたい!と思った生徒達が、募金やバザーなどをしてセカンドハンドに寄付してくださいます。毎年の恒例事業として、講演を聞いて、国際協力に関心を持ってなど、きっかけは様々。10月から12月の間にも、6校の生徒さんがご寄付くださいました。思いを行動に移す行動力に勇気付けられます。ありがとうございます。



- ・池田高校(徳島):阿波ロータリークラブの生徒さんがセカンドハンド理事長の講演を聞き、香川のセカンドハンドでボランティア参加。校内募金も実施
- ・観音寺第一高校2年3組:JICA主催合宿参加した生徒さんがきっかけで、学校の文化祭で国際協力のためのフリーマーケットを開催し収益金を寄付
- ・高松工芸高校:毎年工芸展に出店した収益金を寄付
- ・津山東高校(岡山):セカンドハンド創設者の講演を聞き、募金活動を実施
- ・徳島商業高校:校外徳商デパートでカンボジア商品を販売。募金活動も実施
- ・三木中学校:授業の一環でセカンドハンドでボランティア体験終了後、校内で募金活動を実施

YOU倶楽部20周年記念パーティー

例年チャリティーパーティーでオークションなどを開催し、ご寄付くださっている名古屋のYOU倶楽部の100回記念パーティーに参加させていただきました。賑やかな会場で、今回もカンボジア商品を販売させていただき、またご寄付いただきました。いつもありがとうございます!

■下記は、メール、FAXでご注文できます。 TEL&FAX: 087-861-9928 E-mail: jimukyoku2hand@yahoo.co.jp

GOOD
GOODS

カンボジア支援につながるフェアトレード商品

携帯ケース 1,000円

SECOND
HAND
fair trade



女性達がさき織り機で織った布を使用した携帯ケース。カラフルな色合いがかわいくて人気です!

サイズ:縦12cm、幅8cm
商品番号:4717

色:赤系、黄色系、緑系、紫系など

●オリジナルポストカード7枚組

これまでのセカンドハンドスタディーツアー秘蔵写真の中から選びました。はがきの表にはセカンドハンドからのメッセージも入っています。セカンドハンドをもっとたくさんの方に知っていただくために、是非使ってください。



●募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いてOK!
なお、募金箱は再利用してくださいね。

サイズ 縦19.5×横14.5×幅7.5cm



〈郵送での商品をご希望の場合〉

「オリジナルポストカード希望」など明記し、住所、氏名、希望の数の情報を掲載の上、お申込みください。
送料は別途:カンボジア商品500円、CD90円、ハガキ90円、募金箱160円

合計1万円以上お買い上げの場合は
送料無料

SPECIAL THANKS 〈敬称略〉

10/14~12/14の2ヶ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここには、掲載しきれない、その他にさまざまな形で協力くださった皆様もありがとうございます!【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、喜多(福岡町)、(株)セシール(春日町)、富井(満濃町)、長嶋(田村町)【出店協力】イオン高松ショッピングセンター、いま「協同」を拓く2010全国集会in四国実行委員会、オイスカ四国研修センター、香川県立中央病院、葡萄塾、三宅産業(株)【ニュースレター発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/入江治子、大高毅、小竹由美子、清水勉、(株)田中工務店、鳥養歯科医院、新田薫、沼田章、のぞみ総合法律事務所、ベルシャンパレス(株)、松原志乃、馬淵和哉、(株)三木山田清掃・香西岩男、三谷範至、三原主幹、山下真利子、横田千春、吉田敏子、愛媛/友近規、岡山/堤堅、西川秋美、田中里東、東京/(株)デンダ、日永勝裕、徳島/栗飯原治仁、遠藤寛、富山/荻浦いく弥、兵庫/河原敏博、福岡/平野尊代、吉廣道子、北海道/千葉未知子【その他】麻生学園深沢幼稚園、香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、四国労働金庫、天勝(丸亀)、ブルワン【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷



各地でひろがるセカンドハンドの輪



広島店

最近、新規のお客さん、品物の提供者が増え、お店の認知度が上がっているように思います。とても喜ばしいことです。今後も活動に賛同して下さる方が増えるように益々頑張っていきたいと思います。

セカンドハンドユース

●LIFT

2008年に発足し、現在14名で活動しています。新入生向けワークショップ、大学祭や国際フェスタでのフェアトレードカフェ出店など、様々なイベントに取り組んだほか、自分達の知識を深めるための勉強会も行いました。しかし、イベントを実施して実感したのは、フェアトレードを人に伝えていくことの難しさです。今後は国際協力ステージの成功を目標にすると共に、カフェをこれまで以上に出品してフェアトレードをもっと多くの方に知ってもらえるよう活動していきたいと思っています。



香川大学祭にて

●関東

10月に、国際基督教大学の学祭で焼き鳥屋台を出店しました。収益金4万円弱を、センソックの奨学金支援に充てます。少人数ですが、これからも、関東でできることを探して頑張っていきます！



焼き鳥の匂いにつられて次々と来店。完売しました！

●小指会

今年の8月に実際にカンボジアに行き、奨学生たちと交流してきました。センソックの生活は私たちの想像をはるかに超える貧しさでしたが、その中でも日々楽しそうに暮らし、「学校に通えることが幸せ」と答えてくれました。実際に会って話すことができ、私たちは今までよりもいっそう頑張ろうという気持ちになりました。現在、3月19日の国際協力ステージに向けて頑張っています。ぜひみなさんも国際協力ステージに足を運んでみてください。詳細はHP、もしくは本部まで。

丸亀店 3月までに閉店

建物の老朽化が原因で取り壊しが決まり、閉店することになりました。善通寺に店舗が見つかり次第、移転予定です。長い間支えてくださった皆様に感謝を込めて閉店セールを実施中です。商品の提供、募金、購入して頂いた多くの方々、本当にありがとうございました。閉店を残念がってくださる常連さんもおられ、私たちボランティアもこの方々とのつながりがなくなるかと思うと淋しい気持ちでいっぱいですが、最後まで頑張ります。

セカンドハンド北海道

11月13日に「Love&Smile 秋祭り」に出店しました。

美味しいものあり、手作り品があり、そしてライブあり、子どもから大人までが楽しめた暖かいイベントでした。様々な方に興味を持っていただき、お買い物を楽しんでもらえました。今回の収益は、ホームランド孤児院の支援に充てます。子ども達の生活が少しでも改善されることを願っています。

ご協力ありがとうございました。

○1年を振り返って

今年は、昨年まで中心に活動していた学生が卒業し、引っ越してしまったので、少人数で少し寂しい北海道でしたが、それぞれが時間を作り積極的にイベントに参加できました。本当にお疲れ様でした。また、創設者の新田さんの講演会を開催できたことで、支えてくれている皆さんにセカンドハンドをより知ってもらうこともできました。来年もできる範囲で、続けていければと思っています。

セカンドハンド福岡

昨年末はいつも来店してくださる近所のYさんが材料、鍋、コンロを持参で、チーズ鍋をご馳走して下さい、お客様とスタッフ一同での忘年会となりました。今年もお客様共々、楽しい福岡店にしていきたいと思っています。願いは、新しいスタッフが増えること、福岡店をアピールして売上げを伸ばすことです。今年もよろしくお願いします。年始は1/17～オープン。



各店舗・支部で
ボランティアスタッフ募集中！



書き損じハガキ 集めています!

書き間違えたりして投函しなかった
「年賀はがき」ありましたら
ぜひご提供ください。
送り先:セカンドハンド本部

公益社団法人職員・ パート募集!

運営、企画、値段付け、倉庫管理等の
人材を募集しています。
詳しくはHPで。

Second hand Official Supporter (SOS会員)募集

資金面で安定して活動を支援して下さる賛
助会員を募集しています。4月スタートの1年
毎の更新となりますが、いつでも加入できま
す。ぜひ、応援してください。

	①一年一括	②定額自動送金 (毎月)
個人	一口 10,000円	一口 2,000円
企業・団体	一口 20,000円	一口 3,000円

お振込みは同封の郵便振替用紙をご利用ください。
定額自動送金をご希望の方は、
事務局までご連絡ください。

長形4号の封筒募集!

ニュースレターの発送に使用する
封筒を集めています。
会社名などが入っていても結構です。

棚を探しています!

倉庫で使う棚を探しています。
シルバーラックなど(奥行き43cm
以上がベスト)何か心当たりあれば、
ぜひご連絡ください!

提供品の受付

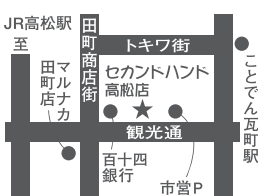
冬物:1/31まで
春物:2月から受付スタート
食器、日用品等季節のないものは
常時OK

セカンドハンドイベント&ボランティア情報

1月3日(月)	初詣チャリティバザー ～雲辺寺恒例福もち投げイベント～ 今年のゲストはモト冬樹さん	四国霊場第66番札所 雲辺寺(徳島)
1月15日(土)・16日(日)	福岡町倉庫引越し作業	福岡町倉庫
1月27日(木)	講演(平野)	勝賀中学校
1月31日(月)～2月6日(日)	チャリティバザー&フェアトレードバレンタインカフェ	4町パティオ
3月19日(土)	第5回国際協力ステージ	サンポートホール 高松第2小ホール
4月23日(土)・24日(日)	ニュースレターNo.64 発送作業	セカンドハンド本部
9月22日(木)	チャリティコンサート	アルファあなづきホール 小ホール

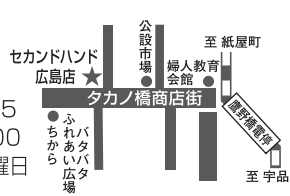
高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
10:00～19:00



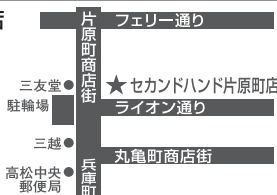
広島店

■セカンドハンド広島店
〒730-0051
広島市中区大手町5-5-7
TEL:082-247-3955
営業時間:11:00～17:00
定休日:土曜日・第1・3日曜日
年始1/5(水)～



片原町店

■セカンドハンド片原町店
〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
10:00～19:00



丸亀店

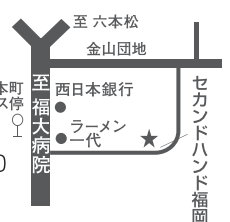
■セカンドハンド丸亀店
〒763-0021
丸亀市富屋町30-1
TEL:0877-25-2876
営業時間:
月 10:00～14:00
木 11:00～16:00
〈閉店セール実施中!〉



セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:月 11:00～15:00
年始1/17(月)～



■セカンドハンド大阪

徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

大波 Tel:090-2695-9390
Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

☆このニュースレターは3ヵ月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。
購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。